

2021 年度  
創発的研究支援事業 年次報告書

|        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 研究担当者  | 福田 治久                          |
| 研究機関名  | 九州大学                           |
| 所属部署名  | 大学院医学研究院                       |
| 役職名    | 准教授                            |
| 研究課題名  | 健康データ創発的多地域コホート研究基盤の構築         |
| 研究実施期間 | 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日 |

### 研究成果の概要

本研究プロジェクト（LIFE Study）は、自治体が保有する保健・医療・介護・行政等の健康関連データを住民単位で統合したデータベース（LIFE DB）を構築し、今後 20 年間に渡り追跡評価することで、ライフコース健康学を創出するものである。健康の関連要因・健康の波及効果の解明、データサイエンスに立脚した Evidence-Based Health Policy の変革、ヘルスケア産業における開発プロセス革新などを通じて、健康寿命延伸と健康格差解消に向けた創発的研究成果を産出することをめざしている。

2021 年度においては、18 自治体を対象にデータベースを構築し、2 自治体と契約を完了させ、10 自治体から研究参加の内諾を得た。また、保健・医療・介護・行政等の健康関連データを標準的に格納するための保存形式として LIFE Common Data Model を開発し、全ての自治体データを同一フォーマットによってデータベース化するシステムを構築した。本システムを提唱するプロファイル論文は 2022 年度に掲載予定である。さらに、10 研究機関とデータ利用に関する覚書を締結し、締結先研究者に LIFE DB を提供し、多数の研究者との共同研究のための研究環境基盤を整備した。Evidence-Based Health Policy の推進のためには、LIFE Study 参加自治体に対して、各自治体の健康課題を明らかにするための分析を行い、その結果を報告した。自治体とのヒアリングを重ねることで、健康施策の立案に必要な分析要望テーマを聴取し、2022 年度以降に聴取内容を反映した分析結果をフィードバックする。

2021 年度の研究成果報告は、原著論文が 1 報受理され、国内学会発表を 17 件、国際学会発表を 3 件実施した。